

千葉糖尿病・内分泌骨代謝疾患診療ネットワークと世話人

田中 知明
(千葉大学大学院医学研究院)

三上 恵只
(国保小見川総合病院名誉院長)

西川 哲男
(横浜労災病院名誉院長)

寺野 隆
(大崎医院)

龍野 一郎
(東邦大学医療センター佐倉病院)

山本 恭平
(千葉市立青葉病院)

吉田 知彦
(国際医療福祉大学)

小出 尚史
(千葉大学大学院医学研究院)



瀧澤 史佳
(千葉メディカルセンター)

西村 元伸
(国立千葉東病院)

橋本 尚武
(東京女子医大八千代医療センター)

千葉県を主体、内分泌や代謝を中心に、活動

- (1)糖尿病・骨代謝疾患の臨床と研究の向上
- (2)地域診療ネットワークの発展と医療連携推進
- (3)若手医師育成や専門教育・生涯教育の支援

千葉糖尿病・内分泌骨代謝疾患診療ネットワーク 2019年連携状況



平成 30 年度の事業報告書

平成 30 年 6 月 1 日から令和 元年 5 月 31 日まで

千葉糖尿病内分泌・骨代謝疾患診療ネットワーク

1. 事業の目的

本事業は、千葉県を中心とした医療従事者に対して、内分泌疾患を中心として骨代謝性疾患や糖尿病の臨床と研究の発展向上と地域における診療ネットワークを発展させ、情報交換と円滑な医療連携の推進を図ることを目的とする。また、ネットワーク事業および、内分泌代謝学の啓発、広報、若手医師の育成や専門医教育・生涯教育に関する事業活動を通じて、当該地域の診療の発展と質の向上に寄与することを目的とする。

2. 平成 30 年度事業の成果

本団体は、千葉県を中心とした医療従事者に対して、内分泌疾患を中心として骨代謝性疾患や糖尿病の臨床と研究の発展向上と地域における診療ネットワークを発展させ、情報交換と円滑な医療連携の推進を図ることを目的とした、ネットワーク事業および、内分泌代謝学の啓発、広報、若手医師の育成や専門医教育・生涯教育に関する事業を行い、当該地域の診療の発展と質の向上に寄与した。平成 30 年度の事業成果として、千葉内分泌ネットワークの科学的研究に関する学会発表と論文執筆として、ネットワーク関連施設における糖尿病患者のデータの統合解析を行い、データ基盤を作成し、糖尿病実臨床における経口糖尿病薬の有効性および安全性に関する研究を推進した。若手会員による学会発表および科学論文(投稿準備中)として、成果発表を行った。また、年 3 回の学術集会啓発事業およびその支援活動を行い、千葉県内最大の内分泌代謝疾患関連の医療情報交換会をサポートし、下表に示すように、多くの実地臨床医との交流活動を行った。また、内分泌代謝学の広報事業活動において、小規模の active learning 型の講習会、卒後教育事業を行い、千葉県内各地からの臨床医の参加を促し、支援事業を達成することができた。また、推進会議やネットワーク事業も例年通り、計画通りに実施した。一方、継続事業活動を重視した理由から、新規事業のホームページの作成については、予算の計上が困難となったため、次年度に繰り越すこととした。

3. 事業実施に関する事項

事業名(定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数
診療ネットワーク推進事業	千葉糖尿病内分泌・骨代謝疾患診療ネットワーク推進会議	2018年 6月2日	千葉県 千葉市	44人	会議参加人数 44人
診療ネットワーク推進事業	第3回千葉糖尿病内分泌・骨代謝疾患診療ネットワーク役員会議	2018年 6月2日	千葉県千葉市	10人	会議参加人数 10人
学術集会啓発事業	第23回千葉内分泌・代謝談話会	2018年 8月22日	千葉県千葉市 千葉大学医学部	13人	談話会参加人数 延べ50人
学術集会啓発事業	第24回千葉内分泌・代謝談話会	2019年 2月19日	千葉県千葉市 千葉大学医学部	15人	談話会参加人数 延べ50人
学術集会啓発事業	細胞治療内科学例会	2019年 2月9日	千葉県千葉市	31人	例会参加人数 延べ150人
内分泌代謝学の広報事業	会員への啓蒙活動、広報活動	2018年 6月1日 ～2019年 5月31日	千葉県糖尿病内分泌・骨代謝疾患診療ネットワーク事務局	5～18人	千葉市中央区の会員数 延べ320人
内分泌代謝学の広報事業	イベント事業、健康イベント活動	2019年 3月16日	いすみ医療センター	12人	いすみ市住民52名、いすみ医療センター医療関係者36名、内分泌ネットワーク会員12人
内分泌代謝学の卒後教育支援事業	講習会、学術的抄読会、症例検討会、エビデンス検討会	2018年 6月1日 ～2019年 5月31日	千葉大学医学部分子病態解析学講座内	5～18人	千葉市中央区の会員数 延べ260人

4. 補足資料：事業活動の記録

事業活動の具体的な活動の記録として、参照までの、今年度に記事や会誌で報告した事業活動記録の内容の一部を、参考までに以下に添付する。

千葉糖尿病内分泌・骨代謝疾患診療ネットワーク活動報告 “2019”

1. 千葉糖尿病・内分泌骨代謝疾患診療ネットワークの2019年連携状況

おかげさまで、2019年5月1日時点での、千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学講座を中心とする千葉内分泌ネットワークの連携状況を示します(図1)。

糖尿病や内分泌・骨代謝疾患を対象に、千葉メディカルセンターの瀧澤先生、布施先生とも連携を強化し、いすみ医療センターには樋口特任助教が研究と臨床活動に精力的に従事しています。

図1. 千葉糖尿病・内分泌骨代謝疾患診療ネットワーク 2019年連携状況



2. 次世代型健康長寿ホルモンアカデミー寄附講座の2019年活動状況

平成30年5月1日から、いすみ市長といすみ医療センターと協力して、分子病態解析学講座に「次世代型健康長寿ホルモンアカデミー寄附講座」が設置され、様々な活動をしています。「大学」「地域中核病院」「地方自治体」が一体化して、新たな枠組みを創出し、医学研究と地方行政の連携によるグローバル+ローカル=「グローカル」な研究拠点・人材育成のモデル形成に重要な役割を果たしています(図2)。

やはり、一番大切なことは、「人」です。おかげ様で、内分泌専門医・糖尿病専門医・循環器専門医・神経内科専門医資格を有する教官を、私の主催する分子病態解析学教室で、常時採用できる体制が整いました。加えて、脳外科の岩立教授から、脳外科専門医の大学院生を継続的に交流させて共同研究体制を維持することにもなり、脳梗塞や脳出血の患者さんの対応のパイプ役として、臨床と研究の両面から活躍してもらおうと期待しています。

今後は、皆様の稀少症例の遺伝子解析や分子病態解析、糖尿病薬のデータの論文化(千葉内分泌ネットワークの共著論文)など、多角的に活動を展開できるようになると思います。お気軽に、ご相談ください。

図2. 次世代型健康長寿ホルモンアカデミー寄附講座 2019年連携状況

超高齢化社会と地方の過疎化という負のダブルスパイラル

「大学」「地域中核病院」「地方自治体」
が一体化 → **新たな枠組み**

医学研究と地方行政の連携による
グローバル+ローカル=「**グローカル**」な
研究拠点・人材育成のモデル

自然豊か・食の充実した**いすみ市**は、
「**医食農同源**」の視点から良いモデル
次世代型の地方創生モデルを提言



図3. 次世代型健康長寿ホルモンアカデミー寄附講座 教官

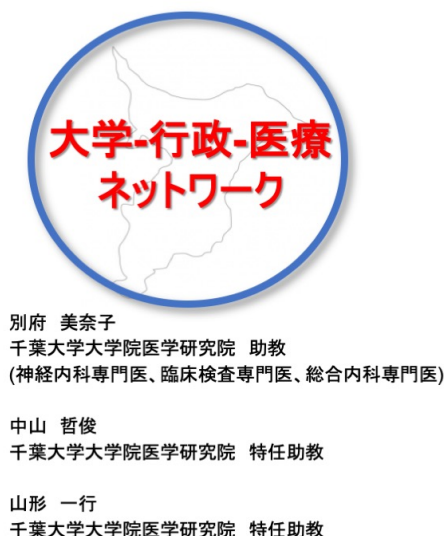
田中 知明
千葉大学大学院医学研究院 教授
(内分泌専門医、糖尿病専門医、甲状腺専門医、
内科認定医、総合内科専門医)

横山 真降
千葉大学大学院医学研究院 特任准教授
(循環器専門医)

橋本 直子
千葉大学大学院医学研究院 特任助教
(内分泌専門医、糖尿病専門医、総合内科専門医)

永野 秀和
千葉大学大学院医学研究院 特任助教
(内分泌専門医、糖尿病専門医、総合内科専門医)

樋口 誠一郎
千葉大学大学院医学研究院 助教
(内分泌専門医、糖尿病専門医、総合内科専門医)



別府 美奈子
千葉大学大学院医学研究院 助教
(神経内科専門医、臨床検査専門医、総合内科専門医)

中山 哲俊
千葉大学大学院医学研究院 特任助教

山形 一行
千葉大学大学院医学研究院 特任助教

3. いすみ医療センター「健康屋台」イベント

2019 年度の大切なイベント企画予定として、いすみ市地域における健康支援活動が、開催されました。受付開始後、わずか1日で、定員の4倍を超える問い合わせがあり、大盛況のイベントでした。

これは、住民と医療者が、立場を超えて、屋台で酒を酌み交わすような気持ちで、肩を並べて住民目線で、健康談義をしようという趣旨のイベント企画です。田中知明の同級生、かつ、友人でもある千葉大学総合安全衛生管理機構の潤間励子先生(平成4年千葉大医卒・呼吸器内科専門医)が中心となって取り組まれている健康支援活動、「健康屋台」とコラボ企画であり、いすみ市行政、いすみ医療センターの伴俊明先生、柴田貴久先生とも協力しながら、地域の皆様のための活動を行ないました。

With 千葉大学医学研究院次世代型健康長寿ホルモンアカデミー寄附講座 開催報告

千葉大学総合安全衛生管理機構 准教授 潤間 励子

2019年3月16日に、千葉大学医学研究院次世代型健康長寿ホルモンアカデミー寄附講座といすみ医療センターの共同企画として住民向け健康支援イベント健康屋台[®]を無事開催できましたことを関係の皆様への感謝とともにご報告申し上げます。

2018年秋に、同級生のよしみということで、田中教授からご依頼を受け、大学がアウトリーチして地域住民の健康増進に貢献するという「健康屋台[®]」のパッケージをいすみ医療センターで実施するということになりました。いすみ医療センター伴院長先生、押元事務長様、医療センター職員の皆様のご尽力により、50名以上の住民の皆様にご参加いただき、つつがなく運営できましたことに心より感謝申し上げます。

当日は、田中教授の「ホルモンの秘密と病気のしくみ」というご講演の後に、健康座談会「専門医と語ろう！」という企画で、分子病態解析学講座の若手研究者・スタッフ、いすみ市・大多喜町・御宿町の行政担当者、医療センターの医師が地域住民とざっくばらんに懇談して頂き、普段は聞けない悩みや、医療センターへの要望など今後につながるお話がたくさん伺えました。また、医療センター看護部の皆様が、丁寧に住民の皆様の健康相談に対応されており、予定時間を少しオーバーする盛況ぶりでした。

人工透析室では、医療センター検査部・リハビリテーション部の皆様にご協力いただき、骨密度測定、血管年齢測定、ロコモティブシンドロームチェック、転倒防止体操、肺年齢測定といった普段の診療では測定機会の少ない検査を参加者に体験していただきました。

住民の皆様からは、伴院長先生、柴田先生への感謝の言葉がたくさんあり、以前に田中教授に診察して頂いたとお手紙を渡された方もおられ、中核病院として地域住民から絶大な信頼を得ていることを強く感じました。また、伴院長先生、病院管理者であられる太田いすみ市長様からも、「医療センターがこんなににぎわっていてうれしい」とおっしゃっていただき、大変うれしく思います。

今後、分子病態解析学講座の若手研究者が、いすみ市で診療した経験を活かし先端研究で大きな成果を挙げ、「ノーベル賞の街 いすみ・大多喜・御宿」というキャッチフレーズが使われるのではないかと夢見ております。そのためにも、地域の公民館へのアウトリーチや、次年度のいすみ医療センター健康屋台[®]等、継続して開催できればと考えております。

健康屋台[®]ホームページ <http://kenko-yatai.chiba-u.jp/>

「健康屋台[®]」は（株）ミライノラボの登録商標です。

いすみ医療センター健康屋台に参加して ～地域の皆さんと肩を並べて～

千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学
千葉大学医学研究院次世代型健康長寿ホルモンアカデミー寄附講座
特任助教 永野 秀和

今回、いすみ医療センター健康屋台の座談会にファシリテーターとして参加しました内分泌代謝内科医の永野です。非常に多くの方が来場された中で、5名ずつ2回の計10名の方とお話をする機会をいただきました。まず最初に、「いすみ医療センターはどのような病院ですか。」と病院のイメージを伺ったところ、意外にも初めて病院に来ましたという意見をお持ちの方が数名いらっしゃり、驚きました。その方たちは、他院にかかっていたり、生来健康で病院通院歴のない方たちでした。その方たちにとって、今回の企画では、初めていすみ医療センターの職員の方たちを接することになった訳ですが、皆さん、丁寧によく接してくれるというご感想をいただきました。ですので、今回の企画は、地域の方に改めていすみ医療センターについて知ってもらう良い機会になったのではないかと思います。



健康相談風景

「いすみ医療センター健康屋台 with 千葉大学医学研究院次世代型健康長寿ホルモンアカデミー
寄附講座」を振り返って

千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学
特任助教 橋本 直子

平成 14 年卒の橋本直子です。3 月 16 日にいすみ医療センターで行われた健康屋台に参加させていただきました。参加者の方は募集をかけて即日定員に達したとのことでした。田中教授の講演は、椅子が足りなくなるほどの大盛況で、参加者の方々の健康への意識の高さが感じられました。座談会で参加者の方々に聞いてみると、意外にもいすみ医療センターを受診したことのある方は半数以下で、広報を見て応募したので初めて来院した、いずれ病院受診が必要になったらかかろうと思っている、という方もいらっしゃいました。いすみ医療センターについての質問を受けたときに答えられないことが多くあったので、ファシリテーターの近くにいすみ医療センターの先生方や看護師の方、事務の方などが助け舟を出してくださり助かりました。



「いすみ医療センター健康屋台 with 千葉大学医学研究院次世代型健康長寿ホルモンアカデミー 寄附講座」を振り返って

千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学
千葉大学医学研究院次世代型健康長寿ホルモンアカデミー寄附講座
特任助教 中山哲俊

私は現在、田中教授のもとで特任助教として主にがんの悪性化に関する研究を行っております。この度は先日いすみ医療センターで行った健康屋台についてのご報告をさせていただきます。当日はまずいすみ市長のお話があり、寄付講座を作った理念が「医師派遣ではなく、医師のキャリアを含めた医師育成のため」と話されていたことが強く印象に残っています。次に田中教授の講演があり、田中教授の話を参加者の方が真剣に聞いていたのが印象的でした。その後、参加者の方と専門医を含めたスタッフが輪になり、いすみ医療センターのイメージや参加者が専門医に聞いてみたいことを座談会形式で話しました。その中で実際に診察にあたっている先生方やスタッフへ感謝の言葉も多く聞かれ、いすみ医療センターへの信頼感の強さを感じました。一方で、いすみ医療センターへの忌憚なきご意見も多くみられ、そのような意見も気軽に話せるいすみ医療センターの雰囲気良さも同時に感じることができました。また、健康測定・健康相談は予定時間が過ぎても終わらず、参加者の健康に対する関心の高さをうかがうことができました。今回、普段は病院に来られない方や健康診断を受けていない方なども多く参加され、健康に対する啓蒙活動の一端を担えたかと考えております。

今後も、千葉糖尿病内分泌・骨代謝疾患診療ネットワークのさらなる発展を祈念しております。



田中教授による講演



健康座談会・専門医と語ろう！

令和元年度
千葉糖尿病内分泌・骨代謝疾患診療ネットワーク
(千葉内分泌ネットワーク)
役員会

日時：令和元年6月29日(土)
午後5時00分～
場所：京成ホテルミラマーレ
16階 スカイバンケットルーム

【議題】

- 1) 平成30年度千葉内分泌ネットワーク収支ご報告
- 2) 千葉内分泌ネットワークの活動の状況報告
- 3) 千葉内分泌ネットワーク開催時のDM推進会議の併設について
- 4) 役員からコメント、ご要望、ご質問
- 5) 次回開催日程予定
〔令和2年6月6日(土)または6月27日(土)〕
- 6) その他

令和元年度
千葉糖尿病内分泌・骨代謝疾患診療ネットワーク
(千葉内分泌ネットワーク)
推 進 会 議

日時：令和元年 6 月 29 日 (土)
午後 5 時 30 分～

場所：京成ホテルミラマーレ
16 階スカイバンケットルーム

式 次 第

I. 総会：午後 5 時 30 分～

- 1 開会の辞
- 2 会長挨拶
- 3 議長紹介
- 4 議事
 - 1) 会計報告および会計監査報告
 - 2) その他
- 5 閉会の辞

II. 懇親会：午後 6 時 00 分～

京成ホテルミラマーレ 16 階 スカイバンケットルーム
電話：043-222-2111

III. 写真撮影：午後 8 時 00 分～